

JA安芸

農業振興対策本部
(082) 855-6176



農協だより

Vol.105

URL : <http://www.ja-aki.jp>

平成 27 年 5 月

稲作講習会の開催日

場 所 : J A 安芸各支店
時 間 : 午前の部 10 時～・午後の部 1 時 30 分～
講習内容 : 田植後の管理と本田防除について～

日時	6月8日(月)		6月9日(火)		6月10日(水)		6月11日(木)		6月12日(金)	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
会場	畑賀 2階	中須賀 2階	阿戸 2階	東海田 2階	上瀬野 3階	中野 2階	瀬野 2階	熊野 2階	追分	初神 老人集会所

東海田農事研究会



4月23日にJA安芸東海田支店で、「東海田農事研究会通常総会」が開催されました。昨年11月に発足し今回初めての通常総会で、今年度以降の活動計画について様々な意見が交わされました。今後は、農業祭や、朝市などの参加も計画しており、地域農業の活性を図る予定です。総会終了後、初夏までの野菜管理についての講習会及び、圃場にて植付けの現地指導が行われました。

育苗センターでは・・・

春野菜苗出荷

4月15～18日に2月より育苗した春野菜苗を各支店に出荷いたしました。

長ナス	5,120 鉢	中長ナス	1,872 鉢
ピーマン	3,000 鉢	キュウリ	6,360 鉢
ミニトマト	1,440 鉢	アスパラ	435 本



水稻苗出荷

3月31日に第1回目の播種を行い、4月11、12日と出荷をいたしました。育苗センターの苗は種子消毒を60度の温湯で行い農薬を省いております。4月10日には、2回目の播種を行い、21、22日に出荷をいたしました。6月上旬まで順次育苗を行います。4月24日現在のお米苗予約状況は、17,470箱です。

阿戸農事研究会総会

4月13日にJA安芸阿戸支店にて、阿戸町農事研究会総会が開催されました。

会員16名中14名が出席し、26年度の事業報告、27年度の活動計画などがあり、無事了承されました。

「今年度は農家レストランが本格的に始動となり、町内の活性・農業振興につなげていきたい」と話があり、閉会となりました。



春の農作業安全月間

これから農繁期に入り、農業機械の使用機会が増えてきます。この時期は機械作業中のほか、転倒や草刈り時のけがも多く発生しています。作業の際は周囲に注意を払って行いましょう。機械作業中は携帯電話を持ち、万が一に備え連絡が取れるようにしておきましょう。5月31日まで「春の農作業安全月間」となります。事故が起きないように注意しましょう。

営農メモ

果樹

イチジク

剪定後の枝から4月は沢山の新しい新梢が出てきて伸びています。枝を良く見ると立っている枝は先端の2～3芽が出芽しており、横に倒れている枝は付け根から先の方まで節ごとに出芽していると思います。剪定せずに立っている枝から出芽すると樹高がぐんぐん高くなります。低い樹形にするには、冬場の剪定または、枝をひもなどで横に引っ張って倒すと樹形を低く作っていくことができます。

5月は4月に引き続き芽かき作業を行います。密になっている新梢、徒長している新梢、生育が劣っている新梢、主枝や亜主枝の直上にできる新梢、陰芽や不定芽から発生した新梢等をかき取りします。過繁茂を防ぎ、風通しをよくして、光が果に当たりやすくします。蓬萊柿(品種)では、整枝法、樹勢で異なりますが、残す新梢の数は成園で(1a)樹勢が弱い場合400本、樹勢が強い場合750本程度で、枝と枝の間隔で言うと40cm×40cm～30cm×30cmぐらいになります。

病害虫防除

樹勢が弱く果実が大きならない樹で、樹冠下を掘って見て根に小さな粒が付いているのが確認できる場合、ネコブセンチュウが寄生している為と思われます。ネマトリンエース粒剤を、樹冠下処理して防除します。(防除は、5～6月です。)

カミキリムシは、5月下旬頃より成虫が現れるので対策について紹介いたします。(7月下旬～8月中旬が主な産卵期です。)
①カミキリムシは、5月下旬頃よりガットサイトSの原液を株元から結果母枝まで塗布しておきます。
②ゴマダラカミキリ又は、クワカミキリの食入穴を見つけた場合は「園芸用キンチョールE」のノズルを食入部に差し込み薬剤が食入部から逆流するまで噴射します。(使用回数は、2回以内です。)
③キボシカミキリは、発生時期には、モスピラン水溶剤2000倍液を散布します。モスピラン水溶剤は、カイガラムシ類にも登録があり収穫前日まで3回以内で使用することができます。(果実の表面に黒いすすが付いたようになるのは、カイガラムシによる被害です。)